

新テレビ会議システムの構築概要について

新テレビ会議システムは、各事業所に設置したテレビ会議端末と本店および電算センター（仙台市泉区）に分散配置したそれらを繋ぐテレビ会議設定装置、信号を伝送する社内IPネットワークにより構成されます。（図-1参照）

利用方法は複数の事業所が参加する会議は、テレビ会議端末からテレビ会議設定装置に繋いで行い、2地点間で会議を行う場合には、端末同士を接続して行います。

各事業所に設置された新テレビ会議端末は、フルハイビジョンに対応したカメラ、モニター、符号化伝送装置とからなり、事業所内を移動して利用できるキャスターをそなえたものや多様な映像メディアにも対応した入出力部をもっています。（図-3参照）

なお、今回、構築した新テレビ会議システムの概要は以下のとおりです。

【新テレビ会議システムの概要】

新テレビ会議システムの概要		旧システムの制約	
①	画質の高精細化と高音質化 ・解像度：1920×1080p （フルハイビジョン放送並みの画質）	①	低画質 ・解像度：352×288 （アナログTVと比較して1/4の情報量）
②	規模に制約がない会議開催 ・最大50会議（参加箇所数による） ・最大40箇所/1会議	②	会議規模の制約 ・同時開催最大5会議まで ・1会議あたり最大8箇所
③	多様な画像・映像の取込み ・社内パソコン、デジタルカメラ、ビデオカメラ	③	取り込める画像の制約 ・専用書画カメラのみ
④	多様な通信手段を介した会議を実現 ・現状機能に加え、インターネット、携帯電話および衛星通信回線経由での参加など（一部は予定） ・社外会議を行う場合はセキュリティを確保	④	会議相手（社外）の制約 ・同一規格のシステムのみ接続可能 （ISDN公衆回線）
⑤	業務用パソコンからの会議予約 ・テレビ会議の空き状況を確認しながら予約が可能	⑤	人手による会議予約 ・情報通信部に電話で予約申込

【構築に携わった企業グループ】

- 新テレビ会議システム関連設計施工：通研電気工業株式会社
- テレビ会議予約システム：東北インフォメーション・システムズ株式会社

1 「1080p」：高解像度の一つ。有効走査線数が1080本で順次走査方式の規格。フルHDと呼ばれる。pはprogressive（順次走査方式）の意味。

図 - 1 新テレビ会議システム構成概略図

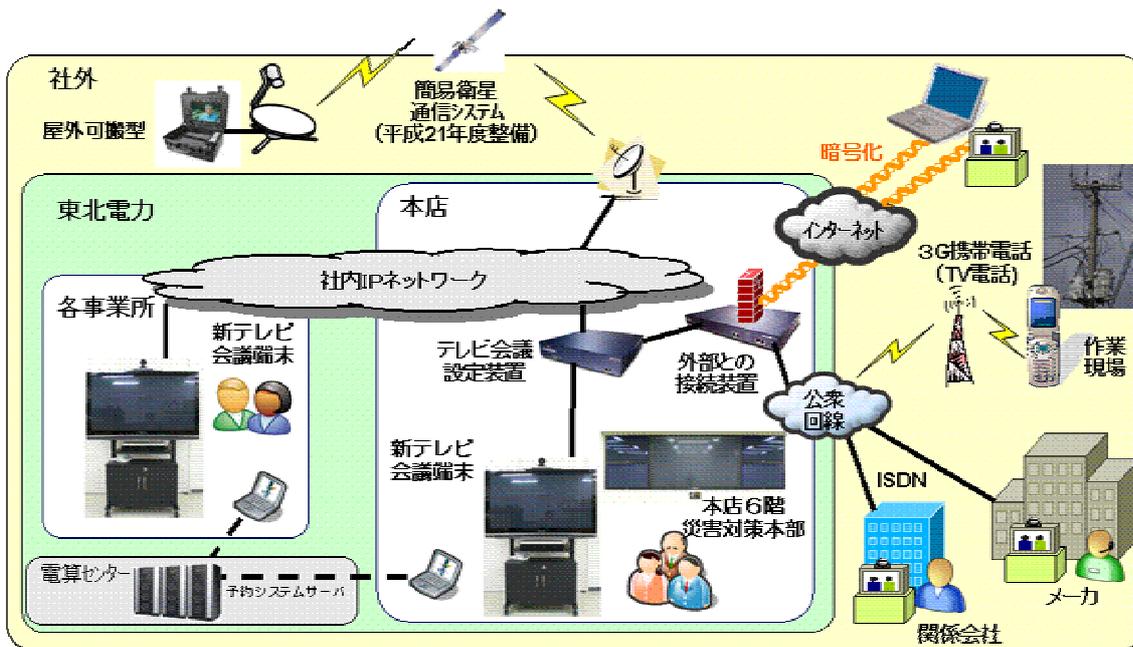
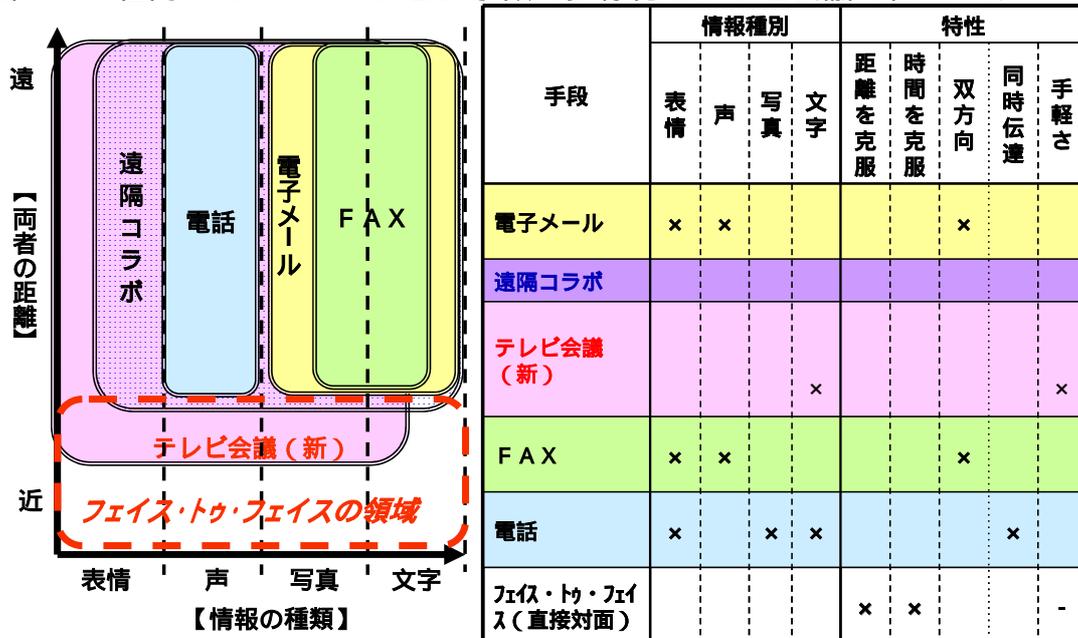


図 - 2 社内コミュニケーション手段の多様化とテレビ会議の位置づけ



遠隔コラボ：パソコン画面による簡易なTV電話

図 - 3 新テレビ会議端末

